

## 随意契約結果書

件名	新潟港土砂堆積メカニズム研究委託
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 新潟港湾・空港整備事務所長 山形 創一 新潟県新潟市中央区入船町4-3778
契約締結日	令和4年9月2日
契約の相手方の氏名及び住所	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
契約金額 (消費税及び地方税含む)	18,828,700円
予定価格 (消費税及び地方税含む)	19,206,000円
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、新潟港（西港地区）に信濃川上流域より流入する土砂の挙動に着目し、特に上流部での流況制御に伴う、港内での流下土砂（浮遊懸濁物）の沈降量の変化などへの影響について、現地調査および水槽実験を通じて検討し、取りまとめを行い、新潟港（西港地区）における維持浚渫の効率的・効果的な実施に資することを目的とする。</p> <p>本業務実施に当たっては、下記の要件が必要となる。</p> <p>①淡水及び海水の境界面を有する状況下における、密度躍層を再現可能な流動水槽を用いて濁水挙動を把握できる水槽実験を実施する能力を有すること。</p> <p>②港内における淡水及び海水の境界面を有する場所での土砂堆積を把握できる高度な知見を有すること。</p> <p>③実験と現地観測結果等を基に総合的に土砂堆積の実態解析を行う高度な技術力を有すること。</p> <p>国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所は、下記のとおり要件を満たす高い能力を有している。</p> <p>海底での底質移動の観測や実験手法に関する多数の研究実績があり、研究成果を学術講演会等において発表していることから、淡水及び海水の境界面における高濁度水の進入挙動及び浮遊懸濁物の堆積を把握するための高度な知見と解析技術を有していると判断できる。</p> <p>また、淡水及び海水の境界面を有する状況下における高濃度濁水の挙動を把握できる水槽実験を行った実績があり、本水槽実験を実施する能力を有していると判断できる。</p> <p>本業務の発注にあたり、参加希望の有無を公募により事前確認を行ったが応募者はいなかった。</p> <p>以上のことから、同法人は、本業務を効率的且つ確実に実施しうる唯一の機関であると判断されるので、会計法第29条の3第4項「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」に基づき、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と随意契約するものである。</p>
備考	